

## 平成25年度社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会事業報告

### 1. 組織体制の充実強化

#### (1) 理事会・評議員会・監事会の開催

##### 【理事会】

- 平成25年 5月24日 ○平成24年度事業報告について  
○平成24年度一般会計収支決算、地域包括支援センター特別会計収支決算、災害ボランティアセンター特別会計収支決算について  
○定款の一部変更について  
※出席者 理事12名、監事2名
- 平成25年12月20日 ○平成25年度上期収支状況について  
○平成25年度一般会計補正予算<第1次>(案)について  
○平成25年度地域包括支援センター特別会計補正予算<第1次>(案)について  
○平成25年度災害ボランティアセンター特別会計補正予算<第1次>(案)について  
○評議員の委嘱について  
※出席者 理事15名、監事2名
- 平成26年 3月27日 ○平成25年度一般会計資金収支補正予算<第2次>(案)について  
○平成25年度地域包括支援センター特別会計補正予算<第2次>(案)について  
○事務局規程の一部改正について  
○熱塩加納ケアプランセンター運営規程の廃止について  
○塩川ヘルパーセンター運営規程の廃止について  
○塩川ヘルパーセンター(居宅介護事業)運営規程の廃止について  
○喜多方ケアプランセンター運営規程の一部改正について  
○喜多方ヘルパーセンター運営規程の一部改正について  
○喜多方ヘルパーセンター(居宅介護事業)運営規程の一部改正について  
○経理規程の廃止及び制定について  
○職員就業規則の一部改正について  
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について  
○平成26年度事業計画(案)について  
○平成26年度社会福祉事業会計収支予算(案)について  
※出席者 理事16名、監事1名

## 【評議員会】

- 平成25年 5月24日 ○平成24年度事業報告について  
○平成24年度一般会計収支決算、地域包括支援センター特別会計収支決算、災害ボランティアセンター特別会計収支決算について  
○定款の一部変更について  
※出席者 評議員26名、会長、常務理事
- 平成25年 9月11日 ○理事の選任について  
※出席者 評議員23名、会長、常務理事
- 平成25年12月20日 ○平成25年度上期収支状況について  
○平成25年度一般会計補正予算<第1次>（案）について  
○平成25年度地域包括支援センター特別会計補正予算<第1次>（案）について  
○平成25年度災害ボランティアセンター特別会計補正予算<第1次>（案）について  
※出席者 評議員24名、会長、常務理事
- 平成26年 3月27日 ○平成25年度一般会計資金収支補正予算<第2次>（案）について  
○平成25年度地域包括支援センター特別会計補正予算<第2次>（案）について  
○事務局規程の一部改正について  
○熱塩加納ケアプランセンター運営規程の廃止について  
○塩川ヘルパーセンター運営規程の廃止について  
○塩川ヘルパーセンター（居宅介護事業）運営規程の廃止について  
○喜多方ケアプランセンター運営規程の一部改正について  
○喜多方ヘルパーセンター運営規程の一部改正について  
○喜多方ヘルパーセンター（居宅介護事業）運営規程の一部改正について  
○経理規程の廃止及び制定について  
○職員就業規則の一部改正について  
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について  
○平成26年度事業計画（案）について  
○平成26年度社会福祉事業会計収支予算（案）について  
※出席者 評議員25名、会長、常務理事

## 【監事会】

- 平成25年 5月14日 ○平成24年度事業報告並びに一般会計収支決算、地域包

括支援センター特別会計収支決算、災害ボランティアセンター特別会計収支決算についての監査

※出席者 監事2名、会長、常務理事

平成25年12月 3日 ○平成25年度上半期業務執行状況及び財産の状況についての中間監査について

※出席者 監事2名、会長、常務理事

(2) 正副会長会議の開催

理事会、評議員会の提出議案について協議を行った。

平成25年 5月17日

平成25年12月18日

平成26年 3月19日

(3) 喜多方市による社会福祉法人監査

平成25年 9月26日 ○熱塩加納支所、塩川支所、山都支所、高郷支所の実地監査

平成25年 9月27日 ○本所の実地監査

※会長、常務理事、監事1名 関係職員

(4) 喜多方市監査委員による財政援助団体等監査

平成25年10月28日 ○対面監査

平成25年11月 6日 ○監査の講評

※会長、常務理事、関係職員

(5) 青木会計による会計指導

平成25年 5月 8日 ○平成24年度決算に係る会計指導

平成25年11月11日 ○平成25年度上半期決算にかかる会計指導

(6) 苦情解決第三者委員打合せ会の開催

苦情解決第三者委員との打合せ会を平成25年11月13日に開催した。

※出席者 第三者委員3名、常務理事、事務局長、苦情受付担当者

(7) 福島県社会福祉大会への参加

日 時 平成25年11月15日

会 場 相馬市民会館

参加者 会長、副会長、評議員 計 7名

表彰者 福島県社会福祉大会会長表彰 6名

(8) 財政基盤の確立

自主財源としての会員会費制度の充実、賛助会員会費制度の拡充に努めた。

一般会員会費 7, 6 9 3, 5 5 0 円

賛助会員会費 1, 5 1 6, 0 0 0 円

(9) 喜多方市社会福祉協議会介護事業のあり方等検討委員会の設置

介護事業の今後のあり方と本協議会が持続的に発展するための方策、財政基盤等について検討するため、喜多方市社会福祉協議会介護事業のあり方等検討委員会を設置し、平成 25 年 7 月から 1 1 月にかけて計 5 回開催された。

(10) 介護事業経営改善の取組み説明会の実施

喜多方市社会福祉協議会介護事業のあり方等検討委員会の検討結果を受け、平成 26 年 1 月 1 6 日から 1 月 2 7 日の間において、本所及び 4 支所で全職員を対象とし介護事業経営改善に係る説明会を実施した。

(11) 運営、管理体制の充実

本・支所連絡調整会議（週 1 回開催）、管理者会議（月 1 回開催）

本・支所ごとに職員会議等を定期的に行い、情報の共有化を図ると共に抱えている課題の解決策の検討、研修による資質向上に努めた。

(12) 職員の資質向上

福島県や福島県社協主催による研修会等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。

また、内部研修として、管理職に対する研修並びにケアマネチャレンジバックアップ研修（計 6 回）を開催した。

## 2. 福祉のまちづくり事業

(1) 第 9 回社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが社会福祉に対する理解を深め、地域福祉活動がより一層充実されることを目的として、第 9 回喜多方市社会福祉大会を開催した。

期 日 平成 2 5 年 1 1 月 2 1 日

会 場 喜多方市総合福祉センター・多目的ホール

表 彰 社会福祉大会長表彰 1 団体 社会福祉協議会長感謝 3 名  
福島県共同募金会長感謝 1 9 名、1 0 団体、2 0 校

記念講演 『泣いて笑ってがんばって』

講 師 海老名 香葉子（エッセイスト）

参加者数 5 4 6 名

## (2) ふれあい社会福祉講座の開講

社会福祉を正しく見る目と豊かな創造力を養うことにより、社会福祉の進展に資することを目的として、ふれあい社会福祉講座を開催した。

### 第1講 講談ミニ体験 ～声を出してストレス解消～

講談「愛と汗の人・蓮沼門三伝」

講師：宝井琴柑氏（女流講談師）

期日：平成25年 7月 3日 会場：喜多方市総合福祉センター

受講者数：130名

### 第2講 『つながって生きる』～東日本大震災を通して～

講師：渡部正勝氏（大熊町社会福祉協議会長）

期日：平成25年 7月10日

受講者数：100名

### 第3講 『知っておきたい薬の知識』

講師：柳沼正一郎氏（福島県会津保健福祉事務所生活衛生部副部長）

期日：平成25年 7月17日

受講者数：115名

聴講者計 345名

## (3) 広報紙『きたかた社協だより』の発行

『きたかた社協だより』を4回発行し、市民の福祉事業への理解と協力をえられるよう、また、社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付した。

## (4) ホームページの活用

本会の事業内容を広く市民に周知するためホームページを活用し、情報を発信した。

<ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp>（平成19年9月26日開設）>

## 3. ボランティア事業の推進

### (1) ボランティア活動普及事業協力校の指定（24校）

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校の指定を積極的に推進した。

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、慶徳小学校、豊川小学校、熱塩小学校、加納小学校、塩川小学校、姥堂小学校、堂島小学校、駒形小学校、山都小学校、高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校

(2) 傾聴ボランティア養成講座の実施

傾聴ボランティアの養成を図るため、講座を開催し延べ102名が受講された。

第1講 平成25年9月26日

講師：会津大学短期大学部 講師 木村淳也 氏

内容：よい聞き手になるための傾聴の意味と意義の理解

第2講 平成25年10月3日

講師：福島いのちの電話 研修委員 田中照子 氏

内容：活動内容、専門的手法、傾聴のポイント等

第3講 平成25年10月10日

講師：福島県立医科大学会津医療センター附属病院 臨床心理士  
加藤善和 氏

内容：傾聴のノウハウ、実際の活動経験等

(3) ボランティア養成等事業の実施

①サマーショートボランティアスクールの実施

喜多方地区 高校生 14名

熱塩加納地区 小学生 3名、中学生 11名

塩川地区 中学生 9名

山都地区 中学生 2名、高校生 4名、

高郷支所 小学生 1名

②福祉体験事業

炊き出し訓練（熱塩加納地区） 1回開催（30名参加）

③福祉ボランティア事業

一人暮らし高齢者宅訪問ボランティア（熱塩加納地区）1回実施（11名参加）

(4) 除雪ボランティア事業の実施

除雪作業を支援することにより、高齢者等の精神的・身体的負担を軽減し、地域における支え合い及び福祉の向上を図るため、除雪ボランティア事業を実施した。

地区名	実施日	対象世帯	参加者数	備考
喜多方	2月8日（土）	8世帯	97名	（岩月地区・熊倉地区）
熱塩加納	2月1日（土）	10世帯	84名	
塩川	※積雪量が少なく、希望世帯がなかったため中止			
山都	2月22日（土）	7世帯	128名	
高郷	2月22日（土）	3世帯	56名	
合計		28世帯	365名	

- (5) 視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行  
 朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、ボランティア会員が総合福祉センター録音室で、広報きたかたを朗読しテープに録音したものを、『声の広報』として希望者に郵送した。  
 ○毎月1回・利用者 10名 朗読ボランティア 13名
- (6) 点訳ボランティアの養成  
 点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。  
 ○毎月1回・会員数 7名、第一小学校点字講習会 1回
- (7) 福祉教育への協力  
 市内小中高校で行われた福祉教育のための授業に、職員を講師として派遣した。  
 ・家庭看護・福祉実習 延8回(1名)  
 ・訪問介護員養成研修 延14回(9名)
- (8) 児童生徒福祉作文集『ちいさなて vol. 9』の発行  
 市教育委員会及びボランティア協力校指定の市内各小中学校の協力を得て、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った作文を募集し、福祉作文集『ちいさなて vol. 9』を発行した。  
 ・作成配付冊数 550冊

#### 4. 地域福祉事業

##### (1) 心配ごと相談所の開設

市民の日常の心配ごと、困りごとの相談を受けることにより、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与するため、本・支所において心配ごと相談所を開設した。

<相談内容別内訳>

○生活費に関すること	46件	○年金に関すること	1件
○家族関係に関すること	7件	○就労に関すること	3件
○医療に関すること	41件	○生活全般に関すること	5件
○その他	20件	計	123件

##### (2) ふれあいネットワーク事業(支部社協事業)

ひとり暮らし高齢者を対象として生活支援活動や見守り活動を行う「ふれあいネットワーク事業」を実施した。

ネットワーク件数	31件	慶徳地区	15件	松山地区	8件
		豊川地区	5件	熊倉地区	3件

活動延べ件数	6, 839件	慶徳地区 3, 845件 松山地区 2, 292件 豊川地区 191件 熊倉地区 511件
--------	---------	--

(3) 「ふれあいいいききサロン」の開設（23箇所）

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいいいききサロン」の開設と運営を支援した。

（平成25年度は新規に1ヶ所のいきいきサロンが開設された。）

No.	サ ロ ン 名	地 区	回数	開 設 年 月 日
1	松が丘いきいきサロン	喜多方地区	30回	平成12年5月23日
2	坂井いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成12年8月23日
3	吉志田いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成13年7月13日
4	桜ガ丘いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成17年4月13日
5	村松三区いきいきサロン	喜多方地区	14回	平成18年2月26日
6	柴城地区いきいきサロン	塩川地区	13回	平成18年8月21日
7	塩川地区いきいきサロン	塩川地区	12回	平成18年10月2日
8	清水台いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成19年3月18日
9	上窪地区いきいきサロン	塩川地区	15回	平成19年4月23日
10	関柴いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成21年10月28日
11	菅原町栄町いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成22年4月15日
12	東四ツ谷いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成22年4月17日
13	ひばりが丘いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成23年5月20日
14	上三宮二区いきいきサロン ほおづき	喜多方地区	12回	平成23年6月14日
15	針生ひだまりサロン	熱塩加納地区	13回	平成24年4月10日
16	野辺沢いきいきサロン	熱塩加納地区	19回	平成24年4月12日
17	別府いきいきサロン	塩川地区	12回	平成24年4月13日
18	渋井いきいきサロン高德会	喜多方地区	12回	平成24年6月18日
19	寺町いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成24年6月19日
20	新崎いきいきサロンお達者クラブ	熱塩加納地区	14回	平成24年9月29日
21	花園いきいきサロン	喜多方地区	13回	平成24年11月7日
22	一ノ堰二区いきいきサロン	喜多方地区	12回	平成24年4月1日
23	議屋いきいきサロン	喜多方地区	7回	平成25年9月27日

○ふれあいいいききサロン世話人連絡会の開催

日 時 平成26年3月6日

内 容 講習会 「高齢者サロンでのレクリエーションについて」

(4) 日常生活自立支援事業の推進

日々の生活に不安を抱える高齢者や障がい者の方々が安心して暮らせるために、金銭管理等を行う地域福祉権利擁護事業を積極的に推進した。

年度末契約件数 3件

(5) 生活福祉資金（離職者支援資金）の貸付

他からの融資が難しい世帯に対し、県社協の資金である生活福祉資金貸付けの手続きを行い、必要な援助指導を行った。

平成25年度新規貸付件数 4件（940,000円）

(6) 小口生活援助資金の貸付

低所得者の緊急な経済的問題を解決し、安定した生活が送れるよう資金を貸し付け、必要な援助指導を行った。

貸付件数 31件（1,470,000円）

(7) 高額療養費の貸付

高額療養費支払いに困窮する者に対し資金を貸し付け、その世帯の経済的自立を助長し、生活の安定を図った。

貸付件数 38件（1,375,171円）

(8) おもちゃ図書館の運営

全ての子供達が、おもちゃや本を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供した。

本所	年間利用人員延	5,632名	開館日数	69日
熱塩加納支所	年間利用人員延	122名	開館日数	12日
塩川支所	年間利用人員延	1,567名	開館日数	59日
山都支所	年間利用人員延	227名	開館日数	17日
高郷支所	年間利用人員延	315名	開館日数	24日
	計	延7,863名	計	181日

(9) 子育て支援事業

- ・第1回ミニサロン(ベビーマッサージ教室) 平成25年9月6日 10名参加
- ・第2回ミニサロン(バスバブルの作成) 平成25年11月19日 60名参加
- ・にこにこ運動会 平成26年2月14日 91名参加

(10) 高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、

販売先の開拓に取り組んだ。

また、センターまつりの開催、アートぶらりーへの参加、更には、ふれあい作品展や体験教室指導、各種イベントでの出店を行い生製品の販売と、会員募集、事業活動のPRに努めた。

1) 各グループ活動

登録者数 177名

年間延活動人員及び延活動日数 8,509名 / 609日

<内訳>

・手芸グループ	1,070名 /	44日
・陶芸グループ	3,729名 /	180日
・菌茸グループ	237名 /	28日
・園芸薬草グループ	372名 /	117日
・押し花絵グループ	230名 /	26日
・わら工芸グループ	461名 /	77日
・織物グループ	827名 /	44日
・パソコンクラブ	129名 /	24日
・その他	404名 /	41日
・土根壤耕遊塊	105名 /	28日

(11) 高齢者生きがい対策事業の実施

○陶芸教室の開催

高齢者のいきがいつくりの一環として塩川地区と山都地区において陶芸教室を開催した。

塩川地区 会員数33名 延べ573名 / 84日

(体験講習 2回※団体の受入)

山都地区 会員数14名 延べ156名 / 33日

○一人暮らし高齢者等支援事業

料理教室(熱塩加納地区・市役所との共催) 2回開催(延べ20名参加)

閉じこもり予防事業<小旅行>(塩川地区) 1回開催(13名参加)

閉じこもり予防事業<集合昼食会>(山都地区) 1回開催(17名参加)

閉じこもり予防事業<小旅行>(山都地区) 2回開催(19名参加)

友愛訪問・お弁当サービス(高郷地区) 1回開催(43食)

交流事業(高郷地区・赤十字奉仕団と共催) 1回開催(15名)

(12) 児童館運営事業への協力

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館運営事業に、

児童厚生員を配置しその運営に協力した。

(旧喜多方市地区内の児童館について市より受託)

○登録児童(幼児・学童)数(平成26年3月現在)

中央児童館 64名 上三宮児童館 16名 岩月児童館 17名  
関柴児童館 30名 熊倉児童館 29名 慶徳児童館 25名  
豊川児童館 41名 喜多方児童クラブ館 72名  
松山児童クラブ館 38名 しきみ児童クラブ館 40人

**計372名**

### (13) 支部社協活動の推進

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成9年8月24日	関柴支部	平成12年3月12日
松山支部	平成10年3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年2月11日	上三宮支部	平成17年9月7日
豊川支部	平成11年7月21日		

### (14) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため福祉団体の事務局として、育成支援を図った。

- 1) 民生児童委員連合会
- 2) ふれあい福祉協議会
- 3) 老人クラブ連合会
- 4) 身体障がい者福祉協会
- 5) 手をつなぐ親の会
- 6) 福島いのちの電話
- 7) 瓜生岩子刀自顕彰会
- 8) 更生保護協議会
- 9) 遺族会連絡協議会
- 10) その他の福祉関係団体

### (15) 家族介護者交流事業の実施

高齢者を介護している家庭のみなさんを介護から一時的に開放することにより、心身の負担を軽減し在宅で安心して介護が続けられるように、また、同じ介護者同士の交流を図ることを目的に家族介護者交流事業(リフレッシュ事業)を実施した。

- ・日帰りリフレッシュ事業(平成25年10月10日)

参加者: 17名 行き先: いわき市方面

- ・一泊リフレッシュ事業(平成25年10月23日~24日)

参加者: 20名 行き先: 茨城県五浦方面

- ・交流会事業(平成26年2月4日)

参加者: 13名 会場: 温泉保養施設「夢の森」

(16) 福祉バスの運行

市民の福祉向上に寄与するため、福祉バスを運行した。

運行日数 延 169 日 (運行台数3台)

(17) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の家族旅行や外出など短期間の車椅子使用に対応するため、無料貸出を行った。

貸出件数 86件

## 5. 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

(1) 借上げ住宅避難者宅への訪問活動協力

南相馬市社会福祉協議会からの依頼により喜多方市内の借上げ住宅等に避難されている方への訪問活動に同行するとともに、本協議会や喜多方市の情報を提供した。

また、民生児童委員連合会と協力しての安否確認や避難元社協との連絡調整に努めた。

(2) 大熊町からの避難者のつどい「喜多方のつどい」への協力

大熊町から喜多方市に避難されている方を対象に、情報交換や閉じこもり防止、心配ごと相談、軽体操やレクリエーションの実施などを目的に月1回、総合福祉センターで開催されている「喜多方のつどい」の運営に職員が協力した。

(3) 避難者健康相談会への協力

福島県会津保健福祉事務所並びに富岡町が主催する健康相談会（各月1回）の運営に職員が協力した。

## 6. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっているこの運動に精力的に協力した。

共同募金実績 8,626,582円

歳末たすけあい募金実績 5,055,771円

○街頭募金の実施

喜多方地区 3ヶ所 ヨークベニマル喜多方店、コープあいづベスタひがし店、  
リオンドール喜多方西店

塩川地区 1ヶ所 コープあいづバリューしおかわ店

高郷地区 1ヶ所 高郷公民館（文化祭イベント会場）

※募金ボランティア参加者 小学生 9名、中学生 4名、高校生 14名、  
一般10名 計 37名

## 7. 日本赤十字社への協力

人道・博愛を目的とした日本赤十字社への協力を図った。

社資実績額 9, 119, 845円

AED（自動体外式除細動器）を配置している施設 6施設

## 8. 指定管理施設の運営

### (1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。  
また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター年間利用人員 40, 040名（開館日数 310日）

多目的ホール貸出回数 359回（利用者数 17, 209名）

会議室貸出回数 336回（利用者数 4, 584名）

### (2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設（温泉入場者）営業日数 313日 延利用者数 83, 126名

運動施設（ゲートボール場）利用日数114日 延利用者数 1, 434名

送迎車の運行 延日数 36日 延べ利用者数 649人

### (3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

パンフレットを作成し各種イベントで配布するなど誘客に努めた。

また、キッズスペースを設置し子ども連れでゆっくりと利用していただけるよう環境整備を図った。

保養施設（温泉入場者）営業日数 307日 延利用者数 21, 276名

巡回福祉バス運行 102日（毎週水・木曜日）

### (4) 生活支援ハウス事業

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

○山都生活支援ハウス 10部屋 1名入居（3月末現在） 年間合計延14名利用

○高郷生活支援ハウス 7部屋 3名入居（3月末現在） 年間合計延37名利用

## 9. 災害ボランティアセンターの運営

7月22日未明から23日にかけて降り続いた豪雨により、熱塩加納地区において大きな被害が出たことから、社協熱塩加納支所を拠点として「熱塩温泉地区豪雨災害現地

ボランティアセンター」を設置し、被災者のニーズに応じてボランティアをコーディネートし、迅速かつ適切な支援活動に努めた。

設 置 平成25年7月25日から7月29日（月）まで  
活 動

日	活動件数	ボランティア数
7月26日（金）	・住宅2件 ・店舗1件 ・工場1件 計4件	熱塩加納地区福祉団体 会北中教師・生徒、社協職員 計 40名
7月27日（土）	・住宅4件 ・側溝1件 ・ゴミ撤去1件 計6件	地元小中学校教諭、福島県職労、 喜多方市職員、社協職員等 計111名
7月28日（日）	・住宅2件 ・旅館1件 ・お宮1件 計4件	民生児童委員、地元小中学校教諭、 全会津社協職員、福島県職労、 喜多方市職員、社協職員等 計 62名
7月29日（月）	・住宅2件 ・旅館1件 計 3件	熱塩加納地区福祉団体 社協職員 計 49名
合 計	延べ17件	延べ262名

## 10. 在宅福祉サービス事業の健全経営

(1) 居宅介護支援事業所3事業所、訪問介護事業所2事業所、通所介護事業所5事業所、訪問入浴事業所1事業所を運営し、利用者のニーズに応えるため、部門間の連携、財務体質の改善等を図りながら事業所の健全な経営に努力した。(別紙1)

(2) 在宅介護者教室の開催

市民の方々に対し在宅介護の知識と技術を習得していただくため、在宅介護者教室を開催した。

塩川会場 平成26年10月25日 13名受講

## 11. 包括的支援事業の推進

地域包括支援センターを拠点として、高齢者が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策を講じる包括的支援事業を積極的に推進した。

また、認知症高齢者の増加に伴い喜多方市高齢福祉課と連携を図り、認知症サポーター養成講座(オレンジ・スマイル2014)開催への協力や、総合相談の対応についても利用者・家族の要望に応じ相談できる体制作りを図った。(別紙2)